

〒400-0032 山梨県甲府市中央1-1-11-2F  
電話055-237-5523 FAX055-237-5281  
http://www.akaike.com ma@akaike.com

# 赤池まさあき 国政ニュース

イケイケ、あかいかいけ!

# 拉致した日本人を返せ!

# 十二月十日から拉致問題啓発週間

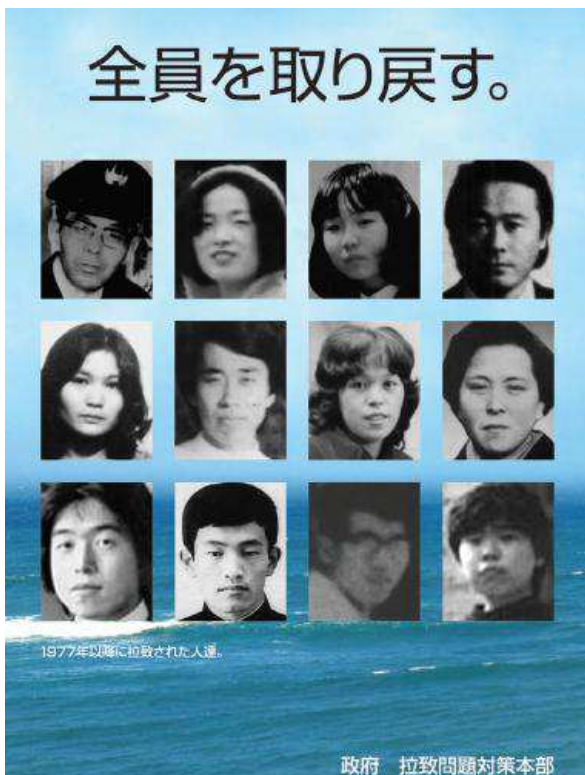
●十日から啓発週間  
十二月十日から十六日までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

平成十八年六月、安倍内閣時代に北朝鮮人権法(拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律)が制定されました。その法律には、拉致問題ははじめ北朝鮮の人権侵害問題の解決に向けて、国と地方自治体の責務等が定められています。その中で、国民広く関心と認識を深めるために、毎年十二月十日から一週間が「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」として位置づけられました。

今年も十一月一日に政府主催で東京においてシンポジウムが開催されます。全国各地の地方自治体も独自の取組がなされています。山梨においては、民間有志が中心となって、下欄のように中山恭子参議院議員をお招きして、講演会を開催します。あわせて、昭和五十九年に甲府市から失踪した山本美保さんの家族からのメッセージもあります。

北朝鮮に拉致されたすべての日本人を救出するためには、政府の外交努力はもちろんですが、国内世論のバックアップが大事です。啓発週間にあわせて、改めて拉致問題を考える機会にしたいものです。

鮮はわが国をスパイ活動の重要拠点として、日本及び韓国、在日米軍に関する情報収集等の工作活動を、戦後一貫して仕掛けてきました。その工作活動の一環として、昭和五十年代以降に日本人の拉致が頻発します。



### ●拉致問題とは

拉致問題とは、北朝鮮の工作活動によって、わが同胞が拉致された国家犯罪であり、国際テロです。日本は朝鮮半島と隣接しており、歴史的経緯から五十八万人近い韓国・朝鮮人が現在でも日本に居住しています。そのため、北朝

政府はようやく昭和六十三年になって北朝鮮による日本人拉致を公式に認め、平成三年以降北朝鮮に対して、拉致問題を提起し続けてきました。しかし、北朝鮮は頑なに否定し、北朝鮮の出先機関である朝鮮総連や社会党(現社民党)等がデッチ上げたと北

### ●拉致された同胞たち

政府は十二件十七名の拉致被害者を認定しています。

- ① 久米裕さん(当時五十二歳)現在八十六歳、昭和五十二年九月九日石川県宇出津(うしつ)海岸で失踪。北朝鮮は入境せずと主張。主犯の北朝鮮工作員・金世鎬(キム・セホ)の引き渡しを要求。
- ② 松本京子さん(二十九歳)六十三歳五十二年十月二十一日に鳥取県自宅近くの編み物教室に向かったまま失踪。北は入境せずと主張。
- ③ 横田めぐみさん(十三歳)四十七歳五十二年十一月十五日新潟県で下校途中に失踪。北は平成六年四月に死亡とし遺骨提出。DNA鑑定の結果、別人と判明。夫は韓国人拉致被害者。
- ④ 田中実さん(二十八歳)

朝鮮を擁護していました。平成十四年の小泉首相(当時)の訪朝によって、ようやく金正日は日本人拉致を認め謝罪し、地村保志・富貴恵夫妻、蓮池薫・祐木子夫妻、曾我ひとみさんの五名の日本人を返しました。

六十二歳兵庫県五十二年六月頃欧州へ出発後に失踪。北は入境せずと主張。  
⑤ 田口八重子さん(二十二歳)五十五歳五十二年六月頃失踪。六十二年十一月の大韓航空機爆破事件で起した元北朝鮮諜報員金賢姫(キム・ヒョンヒ)の教育係「李恩恵(リ・ウネ)」と同一人物。北は原教員と結婚し、六十一年交通事故で死亡と主張。

⑥ 地村夫妻は五十三年七月七日福井県で、蓮池夫妻は同年七月三十一日新潟県で、市川修一さん(二十三歳)五十六歳、増元るみ子さん(二十四歳)五十七歳も同年八月十二日鹿児島県で、相次いで失踪。地村・蓮

### ▼拉致問題講演会

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」にあわせて、講演会を開催いたします。入場無料ですので、奮ってご参加下さい。

日時：十二月十日(土)  
午後一時三十分より

会場：山梨県立文学館  
会費：入場無料

講師：中山恭子参議院議員  
挨拶：特定失踪者山本美保さんの家族より

〒400-0032 山梨県甲府市中央1-1-11-2F  
電話055-237-5523 FAX055-237-5281  
http://www.akaike.com ma@akaike.com

# 赤池まさあき 国政ニュース

イケイケ、あかいけ!

池夫妻は帰国できましたが、市川・増元両名は五十四年結婚し、市川さんは同年、るみ子さんは五十六年に心臓麻痺で死亡と北は主張。

⑦曾我ミヨシさん(新潟県四十六→七十九歳)五十五年八月十二日娘のひとみさん(十九歳)と二人で買い物に行くと言っ

て出かけて以来失踪。ひとみさんは夫ジェンキンスさんと二人の娘と帰国できましたが、母のミヨシさんについて北は入境せずと主張。

⑧石岡亨さん(欧州二十二→五十二歳)、松木薫さん(欧州二十六→五十六歳)五十五年五月頃

に欧州滞在先で失踪。昭和六十三年に石岡さんから日本の家族に出した手紙(ポーランドの消印)が届き、石岡さん、松木さん、そして有本恵子さんが北朝鮮に在住すると伝えて

きました。北は石岡さんと有本さんが六十二年ガス事故で死亡、松木さんは平成八年交通事故で死亡と主張。

⑨原救屍さん(宮崎県四十三→七十三歳)五十五年六月頃に北朝鮮工作員、辛光洙(シン・グァンス)が、韓国当局に対し、

原さん拉致を認める証言をしています。政府として北朝鮮側に身柄の引渡しを要求。原さんは田口さんと結婚し、六十二年肝硬変で死亡と北は主張。

⑩有本恵子さん(二十三→五十一歳)五十八年七月頃に欧州で失踪。「よど号」犯人の元妻は、北朝鮮当局と協力して有本

さんを拉致したことを認めています。政府は拉致実行犯「よど号」犯人の魚本(旧姓安部)公博の引き渡しを要求。有本さんは、六十三年にガス事故で石岡さんと共に死亡と北は主張。

(政府・拉致対策本部より) 以上のように、北朝鮮は、五名帰国、九名死亡、四名入境せずと言っています。

●拉致された疑いのある人々 さらに、拉致された可能性のある「特定失踪者」が数十名いるとも言われ、政府は引き続き北朝鮮に情報確認と即時帰

国を要求しています。甲府市においても、昭和五十九年六月山本美保さんが県立図書館に行つてくるといって失踪した事案等があります。

また、北朝鮮の拉致事件は日本だけでなく、韓国やシナ、タイ、レバノン、ルーマニア、シンガポール、マレーシア、ヨルダン、フランス、イタリヤ、オランダの十二カ国に広がっています。

時期は昭和五十二年五十三年に集中しています。それは、昭和四十九年に後掲指名された金正日が、五十年に對南工作を見直し、五十一年に工作員現地化教育のために拉

致を指令したことに始まると言われています(救う会会長西岡力)。

●北朝鮮の対日工作活動 警察庁は「警備警察五十年(平成十六年)で次のように北朝鮮の工作活動について指摘しています。検挙された北朝鮮によるスパイ事件は約五十件あり、その事件から以下のように分析しています。

(1)昭和二十五年九月から三十三年十月にかけて検挙された「第一次」第四次北朝鮮スパイ事件」などは、激動する朝

鮮半島情勢を背景として、在日米軍に関する情報収集、我が国の警察予備隊、保安隊に関する情報収集などを目的としていました。

(2)昭和三十九年七月に検挙された「本庄浜事件」、「一宮事件」、同年十月に検挙された「寝屋川事件」等は、我が国の政治、経済、外交、軍事等に関する情報収集、特に、自衛隊に関する情報収集等を目的としていました。

(3)昭和五十一年六月に検挙された「布施事件」等は、在韓スパイ網埋設のための獲得工作等の対韓工作、アジア等の海外拠点との連絡、海外スパイ網埋設のための各種工作等を目的としていました。

(4)昭和五十二年九月に検挙された「宇出津(うしつ)事件」や五十三年六月ころ発生した「李恩恵(リ・ウネ)拉致容疑事案」等は、日本人の北朝鮮への拉致を目的としていました。

(5)近年検挙された「新宿百人町事件(平成十二年十一月)」、「東中野事件(十五年二月)では、対韓地下党工作や、万景峰(マンギョンボン)九二号を利用した指令文書のやりとり、工作員への指導等を目的としていたことが明らかとなっています。

一方、北朝鮮工作船の活動に関しては、これまで、三年五月に検挙した「美浜事件」や十三年十二月に発生した「九州南海域工作船事件」が起きています。これ以外にも、相当数の北朝鮮工作船が我が国の領海内に侵入してきているものと思われ

ます。これら北朝鮮工作船は、工作員の潜入・脱出を行ったり、日本人拉致等を行うことを目的として活動しているとみられています。

以上警察庁の報告書にある通り、北朝鮮は戦後一貫として日本に工作活動を仕掛け続けてきました。その中で悪質な工作活動が「拉致」でした。拉致は北朝鮮による日本の国家主権の侵害であり、国民の身体自由を奪う卑劣な犯罪行為です。国民保護は国家の重要な

役割であり、戦争を仕掛けられたと言っても過言ではありません。

●民主党政権の取組は? 民主党政権は、拉致問題に對して、後向きとしか言いようがありません。毎年総理が三人も代わる中で、拉致担当大臣も中井→柳田→仙谷→中野→山岡と五人も代わりました。

鳩山内閣では、北朝鮮からの経済制裁緩和を見返りとした調査委員会設置の打診があったと報道されました。中井大臣は元北朝鮮諜報員金賢姫を来日させました。

引き継いだ菅前総理は、拉致解決どころか、退任直前に朝鮮学校無償化を指示しました。朝鮮学校の教科書では拉致問題を「政府が拉致問題を極大化して反朝鮮人騒動を繰り広げ民族排他主義を煽っている」と記述されているのです。そのような学校に国民の血税を投入する必要はまったくありません。拉致問題にしっかりと取り組むなら、朝鮮学校無償化はあり得ない話です。

野田内閣では、拉致被害者家族と面会したり、写真展に見学したりして、取組の強化を示唆するポーズを見せていますが、担当大臣が拉致問題の門外漢の山岡大臣では進展は期待できません。拉致問題解決のためには、経済制裁強化と自衛隊による被害者救出作戦が必要だと思えます。(赤池まさあき)

野田内閣では、拉致被害者家族と面会したり、写真展に見学したりして、取組の強化を示唆するポーズを見せていますが、担当大臣が拉致問題の門外漢の山岡大臣では進展は期待できません。拉致問題解決のためには、経済制裁強化と自衛隊による被害者救出作戦が必要だと思えます。(赤池まさあき)

## 日本人拉致は、北朝鮮による卑劣な工作活動